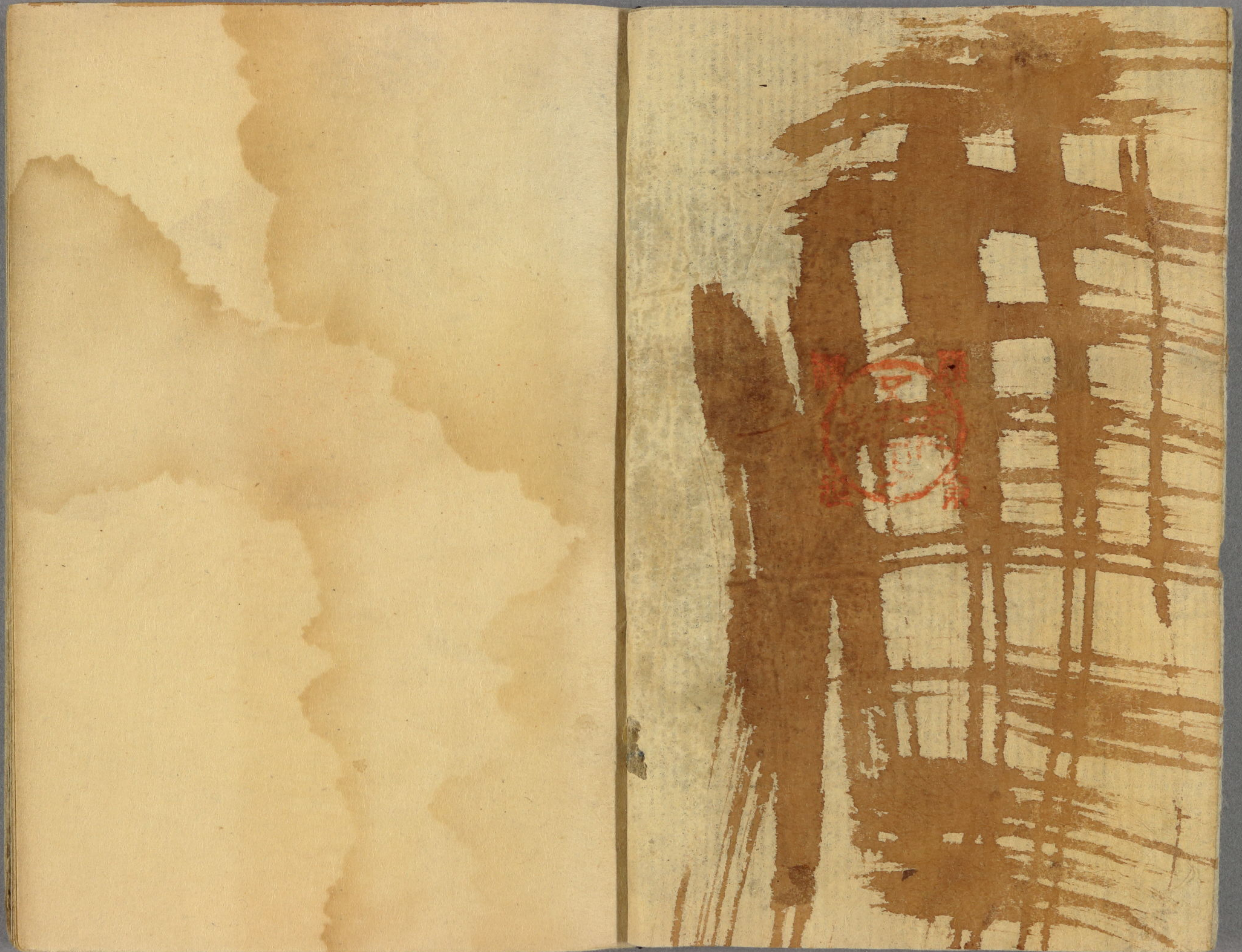
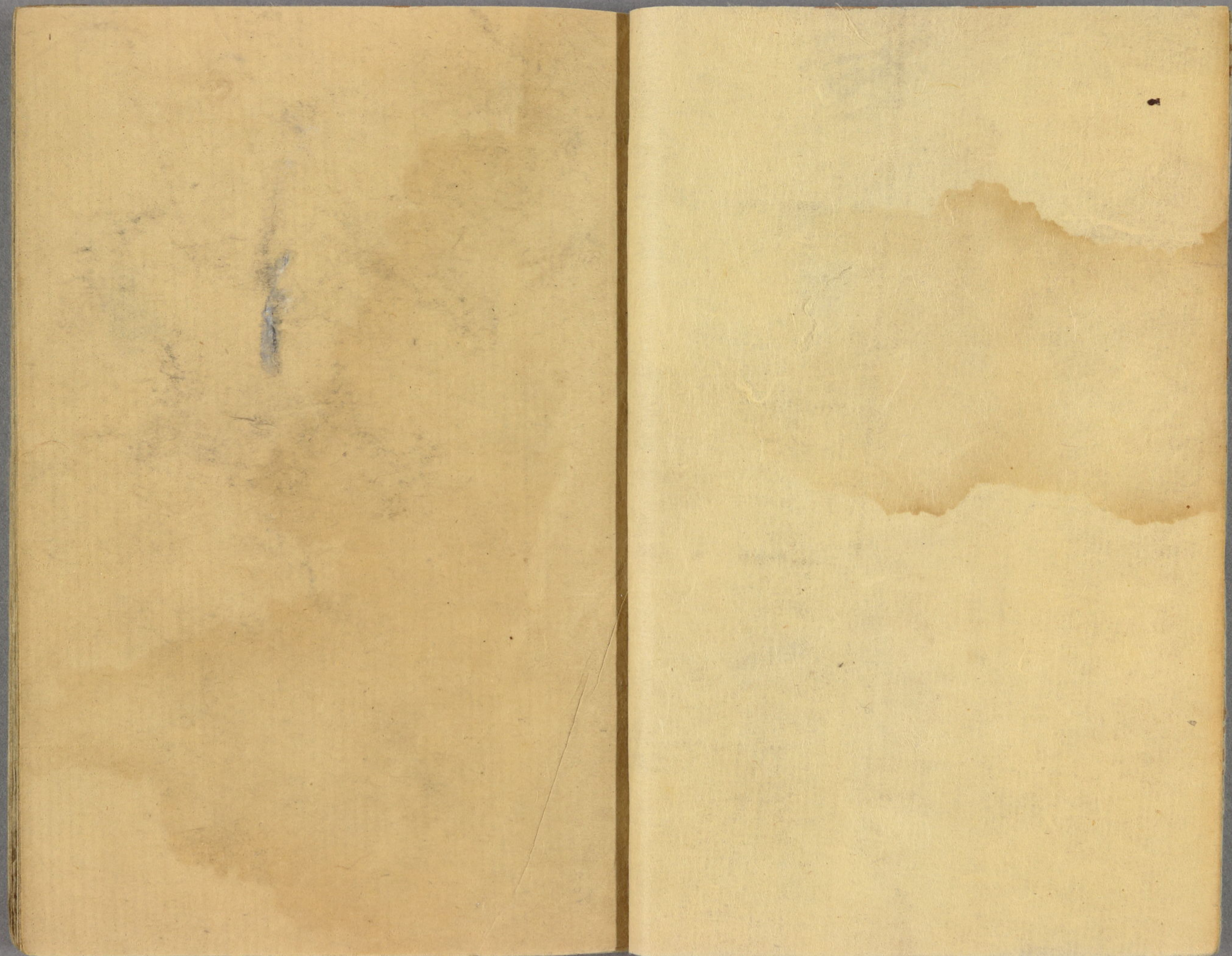


首飾共高画
 仇年本
 小金丸の丸著







以下
3 丁
白 紙

第一回

白拍子 ゲイコ

香保土 ウヤト



凡雅も多しと云ふもあ
やうなやうの山の子ふ
○ 田村人北吾筆

高野屋

好戯世界

雀岡山 ツグノカミ 稻本 イヌホ 樓遊 ウチノ 宴 ウチノ
高野屋 タカノヤ 妓 キ 貌 ウツクシ 好戯 ウツクシ 世界 セカイ

第二回

若狭樓ニ而小波力弥ニ逢
本藏松ヶ枝ヲ切之世界



若狭屋助七

第三回

於屋形高直遠半相諍
於船頭勘平契世界

遠州屋

半兵衛



第四回

遠州屋半兵衛自腹之者
稲本而薬種次郎悪世界



おんほーや
大屋屋由良之助

第五回

勤平千崎弥吾十途中話
定九郎二逢屋夜泊世界



舟宿
早野屋勤平

第六回

山家河與市兵衛カ隱家
標為勤平勒奉公ノ世界

使通左佗



巻の
序

附言

大磯に糖好しの強愈れ舞ふ者多し活氣
遠里なり芳朱蝶舞天何じあんと風流
世に雷鳴妓女もつらつらココロニカリキの
花と葉と共ふ時ありぬされど名も
今もあつたなりとらんあるは若所の楼上
美とほく〜あつても鈴町に辰と揃ふ

七

だごや神連一の蠟燭うきまきんその
 連引ふうらましく通ふ頑要息子つた出
 ぞねる外膳あ送る女中よりあつて
 船車一れお志申う兵曹泊の押りひる不
 教もくの念せぬまゆませして男も勤れ
 情とじしくかゝる娘女の達し美しそを
 だせとれふたあれ書あつらんわごうとせの

何とつる舟のるべとてあぬう美川舟一夜
 のあゝの浪枕おふ恋亮と送りつたふ
 色客と申う何れもいざ一たのぬり
 切小指不せとらる血の涙あまぐく一身を
 抛と生涯とのわまるもあがなあまの登
 め出るあ空送らもて花とらるも一花あ
 ぬうらのあゝあゝとさつと双々園乃

いろはの脚を花のまゝりふ月を懐かぬ
 とんるものうらとこそわし〜 千金も
 一夜き分も一切執業は是れ飛んで
 見ることを知らふ者へ〜ぞわしたる
 いろはの志くず女中衆の口を
 あらぬぞ〜ちよるさまふてあつら
 せうと志つら

仕懸 仇手本
 莫幕

小金あつた著 神

第一回

天地の理ありては女あり
 安ありと後名ありとた人乃
 云糸坂の女〜まはせぬれ親の
 若歩身の低み居〜火の見の

たりき成うらやまんとしんごを交枝の
 高れちちる枝交の低と排り形船の
 低も揚の上の人成茂も高山の月高
 して是の五湖のあも深か
 窠がく一凸凹と世界の理へ今日の理
 と以首成もはめたがも度るべのゆく
 女がる船のしるも高橋の言る勝ん
 とみさるもいぶふさうくば言も低を

恋れな段とよく思ふ手は成を低て
 猪身と思ふ朝ぬ名とましく小雲も
 可多のふくぬあまふらなりぬ徳倉鶴ヶ岡
 へ橋の山小二形ぬかざらぬ二形茶屋の
 いろかる理とをら其海ありて後名附也
 ちるべまが中ぬ一跡目とひつちやうま橋
 稲本とくおら昌あふかしくもなくも
 同くる家の人々

幾利や

あしめむとらふ金物の下書
かき書けりあくのし冊みゆづ

まきや助のろの

せんろうや

茂がのきもの毎のていりや
世三のきもの他をきりや

まのりまの

まのりまの

うののやとらこれる

助や

くこわりのまねがうらひのさるや

あやを
七

まのりまのまのりまのまのりまのまのりまの

だんまのりまの

女中

まのり

まのりまのまのりまの

まのり

まのり

まのりまのまのりまのまのりまの

まのりまのまのりまのまのりまの

くねね女中

まのりまのまのりまの

あやを
七

まのりまのまのりまの

あやを
七

まのりまのまのりまの

あやを
七

まのりまの

あやを
七

あやを
七

まのりまのまのりまの

あやを
七

まのりまのまのりまの

まのりまのまのりまのまのりまの

まのりまのまのりまのまのりまの

あしなや
よしとら

あしなやよしとら

あしなやよしとら

あしなやよしとら

あしなやよしとら

あしなやよしとら

あしなやよしとら

あしなやよしとら

あしなやよしとら

あしなやよしとら 女中 アイ 志中うち

あしなやよしとら 女中 アイ ト 志中うち

あしなやよしとら 女中 アイ ト 志中うち

あしなやよしとら 女中 アイ ト 志中うち

あしなやよしとら 女中 アイ ト 志中うち

あしなやよしとら 女中 アイ ト 志中うち

あしなやよしとら 女中 アイ ト 志中うち

あしなやよしとら 女中 アイ ト 志中うち

あぶらぎのあはれとあやしと あぶらぎのあはれのこと
大由山の「あはれ」

あはれ 女中 あはれ まいあうとあはれ

あはれ あはれとあはれとあはれとあはれと

あはれとあはれとあはれとあはれと

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれとあはれとあはれとあはれと

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

あはれ あはれ あはれ あはれ あはれ

トたりていふ西てさうくとサ
らるるいふかゝるさうらるる

トハキの人のさうらるる
のいふさうらるるのさうらるる

いふさうらるる **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

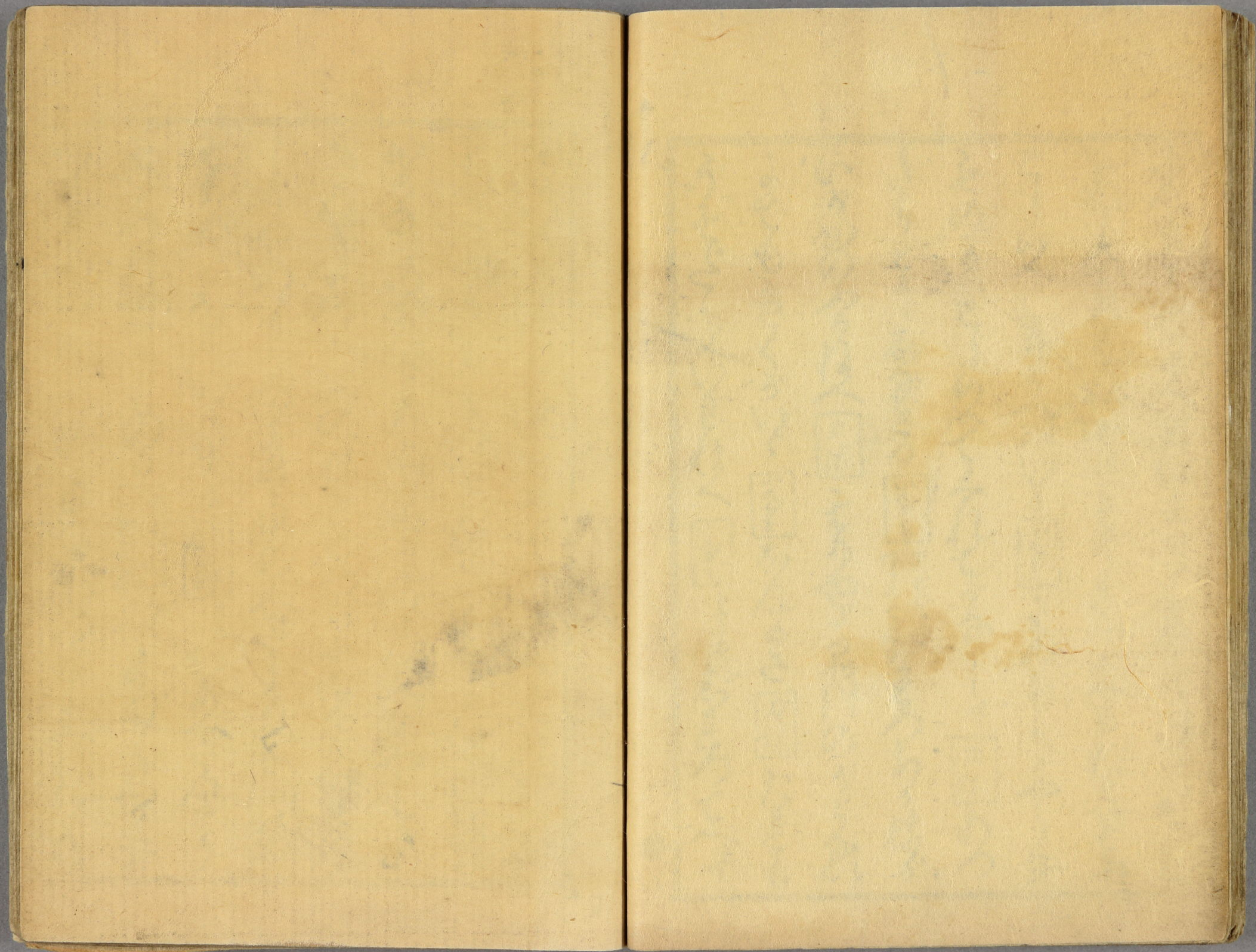
いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

いふ **いふ** いふさうらるる **いふ** いふさうらるる

中[カ]やうじく[カ]ひん[カ]くわん[カ]ん[カ]な
 とやう[カ]らう[カ]ね[カ]は[カ]と[カ]やあ[カ]も[カ]な[カ]そふ
 こ[カ]ら[カ]て[カ]ひ[カ]ん[カ]が[カ]い[カ]く[カ]い[カ]ら[カ]ら[カ]が[カ]や[カ]う[カ]み
 も[カ]の[カ]も[カ]こ[カ]ら[カ]ん[カ]と[カ]れ[カ]て[カ]が[カ]あ[カ]ー[カ]サ[カ]カ[カ]は[カ]め[カ]り
 じ[カ]う[カ]か[カ]い[カ]あ[カ]ひ[カ]ま[カ]る[カ]
フコウト
ワウカク
 い[カ]が[カ]め[カ]の[カ]か[カ]ら[カ]ね[カ]く[カ]
 ま[カ]の[カ]も[カ]あ[カ]ひ[カ]ん[カ]の[カ]い[カ]く[カ]
カハ
 う[カ]の[カ]も[カ]い[カ]ら[カ]ん[カ]く[カ]ら[カ]ね[カ]く[カ]
カハ カハ カハ カハ カハ カハ カハ



中つひのよみしめしとせし 侍内 そのわづら
いひまゝのまじりたるよみしめしとせし
あつひのよみしめしとせし 侍内 そのわづら
まじりたるよみしめしとせし 侍内 そのわづら
しるべのよみしめしとせし 侍内 そのわづら
そのわづら 侍内 十二 あつひとせし
そのわづら 侍内 十二 あつひとせし
あつひとせし 侍内 十二 あつひとせし
あつひとせし 侍内 十二 あつひとせし

まつでちとせぬめいへあやぶがまらり
 ていひとすのめりあぢらぬいさ
 体門 とまじどやあぢらんのあまらう
 こまらやあぢらんのめらまを
 中す くちうあひトまのしわのまら
 けがらんくてもせぬあうまら
 体門 くち本公とまら
 こまら くちあぢら
 ちのせわのせわいさあぢら
 体門 くち本公とまら
 こまら くちあぢら

つたさうりあまらいあぢら
 ちのせわいさあぢら
 体門 くちあぢら
 こまら くちあぢら
 体門 くちあぢら
 こまら くちあぢら
 体門 くちあぢら
 こまら くちあぢら
 体門 くちあぢら
 こまら くちあぢら
 体門 くちあぢら
 こまら くちあぢら

ぢつと... 付 ... 正 ... 抄

... 助 ... 正 ... 助 ... 本

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or document. The text is written vertically and includes several boxed characters (kanji) interspersed within the lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written vertically and includes several boxed characters (kanji) interspersed within the lines.

とらぢんてい^傳うめふちんてい^をゆる
 めん^助あきむ^アぐれ^んじう^うあ^と
 うちのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと
 ぢんぢうてい^グ~~~~~

第四回遠征を半兵衛地蔵切
 上の稲本をばいの世界



ちうぢんのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと
 ちうぢんのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと

下節のあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと
 ちうぢんのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと
 ちうぢんのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと



ちうぢんのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと

ちうぢんのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと

ちうぢんのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと
 ちうぢんのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと
 ちうぢんのあ^んちよめ^んぢう^あれ^うま^ぢて^うご^うて^んは^ゆと

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column and appears to be a list or a series of entries. The script is dense and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column and appears to be a list or a series of entries. The script is dense and difficult to decipher without a key.

